経済産業省 御中

平成26年度委託調査

国内外のガラス市場の今後の需給動向等に関する調査報告書

2015年3月17日
一目次一

I. 世界の主要ガラス企業の収益構造及び関連データ

1. 主要ガラス企業の事業構造と収益構造のまとめ

2. 主要ガラス企業の調査個票

（1）欧米企業～PPG Industries, INC.

（2）欧米企業～Corning Incorporated

（3）欧米企業～Compagnie De Saint Gobain

（4）中国企業～FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP CO.,LTD.

（5）中国企業～XINYI GLASS HOLDINGS LIMITED

（6）韓国企業～KCC Corporation

（7）日本企業～Asahi Glass Company,Limited

（8）日本企業～Nippon Sheet Glass Company,Limited

（9）日本企業～Central Glass Co., Ltd.

（10）日本企業～Nippon Electric Glass Co., Ltd.

II. 中国のガラス産業の動向

1. 板ガラスの生産状況

2. フロートガラスの生産状況

3. 板ガラス製品の出荷単価

4. 中国のガラス産業にかかわる主な政策

5. 中国におけるガラス産業の動向

参考資料
I. 世界の主要ガラス企業の収益構造及び関連データ

1. 主要ガラス企業の事業構造と収益構造のまとめ

（1）調査対象企業一覧表

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域別</th>
<th>企業名</th>
<th>グループ従業員数（人）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>欧米企業</td>
<td>PPG Industries,INC</td>
<td>46,100</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Corning Incorporated</td>
<td>30,400</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Compagnie De Saint Gobain</td>
<td>185,364</td>
</tr>
<tr>
<td>韓国企業</td>
<td>KCC Corporation</td>
<td>4,802</td>
</tr>
<tr>
<td>中国企業</td>
<td>Fuyao Glass Industry Group Co., Ltd.</td>
<td>21,157</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Xinyi Glass Holdings Limited</td>
<td>15,000</td>
</tr>
<tr>
<td>日本企業</td>
<td>Asahi Glass Company,Limited</td>
<td>51,100</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Nippon Sheet Glass Company,Limited</td>
<td>27,029</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Central Glass Co., Ltd.</td>
<td>5,947</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Nippon Electric Glass Co., Ltd.</td>
<td>5,084</td>
</tr>
</tbody>
</table>

調査対象予定の企業Guardian Industriesは2014年7月、Altra Industrial Motion Corp.に買収されたため、今回は調査対象企業には含まないものとする。

（2）調査対象企業の経営状況・成長指標等の比較
①全社（グループ）売上高・営業利益等

[グラフ：売上高と売上高営業利益率の比較]
単位：百万 US ドル、％

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業別</th>
<th>売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>売上高営業利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>PPG</td>
<td>15,108</td>
<td>1,511</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>CORNING</td>
<td>7,819</td>
<td>1,371</td>
<td>17.53</td>
</tr>
<tr>
<td>SAINT GOBAIN</td>
<td>57,852</td>
<td>2,603</td>
<td>4.50</td>
</tr>
<tr>
<td>FUYAO</td>
<td>1,882</td>
<td>409</td>
<td>21.75</td>
</tr>
<tr>
<td>XINYI</td>
<td>1,282</td>
<td>473</td>
<td>36.89</td>
</tr>
<tr>
<td>KCC</td>
<td>3,041</td>
<td>218</td>
<td>7.17</td>
</tr>
<tr>
<td>ASAHI GLASS</td>
<td>12,543</td>
<td>450</td>
<td>3.59</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON SHEET</td>
<td>5,882</td>
<td>7</td>
<td>0.12</td>
</tr>
<tr>
<td>CENTRAL GLASS</td>
<td>1,859</td>
<td>98</td>
<td>5.28</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON ELECTRIC</td>
<td>2,451</td>
<td>157</td>
<td>6.40</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各国の会計基準が異なるので、比較を容易にするため、本項では Hoovers.com のデータベースを採用している。
注：NIPPON SHEET 及び CENTRAL GLASS、NIPPON ELECTRIC の 3 社のデータは 2014 年 3 月のもので、他
の 7 社はすべて 2013 年 12 月末のものである。
*売上高営業利益率=営業利益/売上高*100

売上高営業利益率は、営業活動が効率的に行われたかどうかをみるための指標である。
この比率が高ければ高いほど、本業で利益を生み出す力が高いということになる。
上記 10 社のうち、売上高営業利益率の最も高い企業は中国企業の XINYI で、効率的な経
営活動を行っているといえる。一方、日本企業は大手の SAINT GOBAIN を除き、中国企業
や韓国企業などに比べ低い水準にある。

②成長性指標
出所：各国の会計基準が異なるので、比較を容易にするため、本稿ではHoovers.comのデータベースを採用している。
注：NIPPON SHEET及びCENTRAL GLASS、NIPPON ELECTRICの3社のデータは2014年3月のもので、他の7社はすべて2013年末のものである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業別</th>
<th>ROE</th>
<th>ROA</th>
<th>自己資本率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>PPG</td>
<td>23.60</td>
<td>7.34</td>
<td>31.09</td>
</tr>
<tr>
<td>CORNING</td>
<td>6.68</td>
<td>4.97</td>
<td>74.31</td>
</tr>
<tr>
<td>SAINT GOBAIN</td>
<td>3.39</td>
<td>1.30</td>
<td>38.33</td>
</tr>
<tr>
<td>FUYAO</td>
<td>24.44</td>
<td>13.14</td>
<td>53.76</td>
</tr>
<tr>
<td>XINYI</td>
<td>26.41</td>
<td>16.41</td>
<td>62.12</td>
</tr>
<tr>
<td>KCC</td>
<td>5.78</td>
<td>4.15</td>
<td>71.77</td>
</tr>
<tr>
<td>ASAHI GLASS</td>
<td>1.66</td>
<td>0.85</td>
<td>51.27</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON SHEET</td>
<td>-10.60</td>
<td>-1.89</td>
<td>17.83</td>
</tr>
<tr>
<td>CENTRAL GLASS</td>
<td>3.93</td>
<td>2.18</td>
<td>55.31</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON ELECTRIC</td>
<td>2.74</td>
<td>1.95</td>
<td>71.16</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ROE(株主資本利益率)=税引後当期純利益額／株主資本×100
ROA(総資本利益率)=税引後当期純利益額／総資本×100
自己資本比率=(自己資本／総資本)×100

ROEは、株主という立場で預けた資金をどれだけ効率的に活用しているかを測る財務指標で、ROAは、会社が保有している資産をどれだけ効率的に運用できているかを測る財務指標である。

上記10社のうち、ROEとROAがともに高い企業は中国企業のFUYAOとXINYIの2社で、自己資本率も高いので財務の健全性も高く、優良企業といえる。引いて、この2社は財務レバレッジを上手に活用できており、収益性も高いと判断できる。

一方、日本企業のROEとROAはいずれも低い水準にある。株主から預かった資本を効率的に活用できていないことに加え、資産の回転率も低いといえる。
## ③事業の多角化比較

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業別</th>
<th>事業セグメント(売上構成比)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>PPG</td>
<td>①塗料事業(85%)&lt;br&gt;②化学製品事業(8.4%)&lt;br&gt;③ガラス事業(7.1%)</td>
</tr>
<tr>
<td>CORNING</td>
<td>①ディスプレイテクノロジ事業(39.6%)&lt;br&gt;②オプティカルコミュニケーション事業(27.3%)&lt;br&gt;③特殊素材(12.4%)&lt;br&gt;④環境テクノロジ事業(11.3%)&lt;br&gt;⑤ライフサイエンス事業(8.9%)</td>
</tr>
<tr>
<td>SAINT GOBAIN</td>
<td>①建材流通事業(44.7%)&lt;br&gt;②建築用製品事業(27.4%)&lt;br&gt;③革新的材料事業(21.6%)&lt;br&gt;④容器事業(8.6%)</td>
</tr>
<tr>
<td>FUYAO</td>
<td>①ガラス事業(97.9)</td>
</tr>
<tr>
<td>XINYI</td>
<td>ガラス事業(100%)</td>
</tr>
<tr>
<td>KCC</td>
<td>ガラス事業、樹脂事業、塗料事業、特殊素材事業など</td>
</tr>
<tr>
<td>ASAHI GLASS</td>
<td>①ガラス事業(52.9%)&lt;br&gt;②化成品事業(23.5%)&lt;br&gt;③電子事業 22.0%&lt;br&gt;④セラミックス等(6.0%)</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON SHEET</td>
<td>①ガラス事業(99.8%)</td>
</tr>
<tr>
<td>CENTRAL GLASS</td>
<td>①ガラス事業(54.7%)&lt;br&gt;②化成品事業(45.3%)</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON ELECTRIC</td>
<td>ガラス事業(100%)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各社のアニュアルレポートにより、矢野経済研究所が作成。
### 一部企業の製品別ガラス事業

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業別</th>
<th>製品セグメント(売上高構成比)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>SAINT GOBAIN</td>
<td>板ガラス(11.9%)</td>
</tr>
<tr>
<td>FUYAO</td>
<td>自動車用ガラス(98.3%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>フロートガラス(16.8%)</td>
</tr>
<tr>
<td>XINYI</td>
<td>フロートガラス(45.2%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自動車用ガラス(33.1%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>建築用ガラス(21.7%)</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON SHEET</td>
<td>自動車用ガラス(50.3%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>建築用ガラス(39.7%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>高機能ガラス(9.8%)</td>
</tr>
<tr>
<td>CENTRAL GLASS</td>
<td>自動車用ガラス(30.0%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>建築用ガラス(21.8%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電子材料用ガラス(2.9%)</td>
</tr>
<tr>
<td>NIPPON ELECTRIC</td>
<td>電子・情報用ガラス(69.3%)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>その他用ガラス(30.6%)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各社のアニュアルレポートにより、矢野経済研究所が作成。
2. 主要ガラス企業の調査個票

（1）欧米企業～PPG Industries，INC

①企業概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業名</th>
<th>PPG Industries, INC</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>（日本語で PPG インダストリーズと称している）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>One PPG Place, Pittsburgh, PA 15272 USA</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>4,932 百万 US ドル</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>46,100 人</td>
</tr>
<tr>
<td>企業特徴</td>
<td>1883 年米ペンシルバニア州ピッツバーグにて「ピッツバーグプレートガラス社」として創業。現在はガラス・塗料・化学製品を 3 大事業とし、世界規模で塗料、光学製品、ガラス、ガラス繊維、その他特殊材料を供給している。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>156 の製造工場を世界中に展開。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012 年 12 月期</td>
<td>15,200</td>
<td>1,424</td>
<td>9.37</td>
</tr>
<tr>
<td>2013 年 12 月期</td>
<td>15,108</td>
<td>1,511</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>2014 年 12 月期</td>
<td>15,360</td>
<td>1,293</td>
<td>8.42</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各期アニュアルレポートにより作成。

＜事業別売上高・営業利益＞（2013 年 12 月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ガラス</td>
<td>1,068</td>
<td>7.1</td>
<td>56</td>
</tr>
<tr>
<td>高性能塗料</td>
<td>5,872</td>
<td>38.9</td>
<td>858</td>
</tr>
<tr>
<td>工業用塗料</td>
<td>4,845</td>
<td>32.0</td>
<td>724</td>
</tr>
<tr>
<td>建築用塗料</td>
<td>2,062</td>
<td>13.6</td>
<td>184</td>
</tr>
<tr>
<td>光学・特殊素材</td>
<td>1,265</td>
<td>8.4</td>
<td>368</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>15,108</td>
<td>100.0</td>
<td>2,190</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013 年アニュアルレポートにより作成。
エリア別売上高・営業利益（2013年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>米国</td>
<td>6,147</td>
<td>40.7</td>
<td>1,173</td>
</tr>
<tr>
<td>カナダ・中南米</td>
<td>1,498</td>
<td>9.9</td>
<td>136</td>
</tr>
<tr>
<td>歐州・中東・アフリカ</td>
<td>4,864</td>
<td>32.2</td>
<td>514</td>
</tr>
<tr>
<td>アジア・太平洋</td>
<td>2,599</td>
<td>17.2</td>
<td>367</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>15,108</td>
<td>100</td>
<td>2,190</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年アニュアルレポートにより作成。

＜その他関連指標＞（2013年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数 値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>1,508</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>10.00</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>488</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>3.20</td>
</tr>
<tr>
<td>製造原価</td>
<td>8,636</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>23.60</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>7.34</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>31.09</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年アニュアルレポートより作成。

*1 事業別設備投資額の内訳
<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>高性能塗料事業</td>
<td>1,130百万USドル</td>
</tr>
<tr>
<td>工業用塗料事業</td>
<td>163百万USドル</td>
</tr>
<tr>
<td>建築用塗料事業</td>
<td>37百万USドル</td>
</tr>
<tr>
<td>光学・特殊素材事業</td>
<td>66百万USドル</td>
</tr>
<tr>
<td>ガラス事業</td>
<td>80百万USドル</td>
</tr>
</tbody>
</table>

③ガラス関連事業に関して

PPG インダストリーズは1883年に創業されたガラス製造の会社である。しかし、2008年と2009年にカナダのガラス工場をそれぞれ閉鎖した一方、塗料関連の企業を次々に買収して売上を急激に伸ばしている。

2013年売上高ベースでみると、PPG インダストリーズの主要収入源は塗料事業で、会社全体の 85%を占めている。一方、ガラス事業が PPG インダストリーズ全体に占める割合はわずか 7.1%である。よって、同社事業の中心がガラス事業から塗料事業にシフトしていることが伺える。

ガラス事業においては、大きく分けて建築用ガラスと住宅用ガラスがある。そのうち、Low-E ガラスなど最新のガラス製品を製造している。
（2）欧米企業～Corning Incorporated

①企業概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業名</th>
<th>Corning Incorporated （日本語でコーニング・インコーポレイテッドと称されている）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>One Riverfront Plaza, Corning, NY 14831 USA</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>21,579 百万 US ドル</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>30,400 人</td>
</tr>
</tbody>
</table>

企業特徴

コーニングは、1851 年設立の特殊ガラスおよびセラミックの世界的リーディングカンパニーである。コーニングでは以下 5 つの事業を展開している。

・ディスプレイテクノロジー事業：液晶テレビ、ノートパソコン、その他の家電製品向けガラス基板
・オプティカルコミュニケーション事業：光ファイバ、ケーブル、インターネット通信ネットワーク向け機器
・環境テクノロジー事業：セラミック基板およびセラミックフィルタ（車載用など）による空気清浄化ソリューション
・ライフサイエンス事業：細胞培養向け容器、フラスコなどの製品群
・その他事業：ガラスやガラスセラミックなどに基づく特殊素材を家電、先進光学、宇宙産業など幅広い分野向けの製品

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年12月期</td>
<td>8,012</td>
<td>1,321</td>
<td>16.49</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年12月期</td>
<td>7,819</td>
<td>1,371</td>
<td>17.53</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年12月期</td>
<td>9,715</td>
<td>1,931</td>
<td>19.88</td>
</tr>
</tbody>
</table>

単位：百万 US ドル、%
### 事業別売上高・営業利益（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ディスプレイテクノロジ</td>
<td>3,851</td>
<td>39.6</td>
<td>1,369</td>
</tr>
<tr>
<td>環境テクノロジ</td>
<td>1,092</td>
<td>11.3</td>
<td>182</td>
</tr>
<tr>
<td>オプティカルコミュニケーション</td>
<td>2,652</td>
<td>27.3</td>
<td>205</td>
</tr>
<tr>
<td>ライフサイエンス</td>
<td>862</td>
<td>8.9</td>
<td>71</td>
</tr>
<tr>
<td>特殊素材</td>
<td>1,205</td>
<td>12.4</td>
<td>144</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>53</td>
<td>0.5</td>
<td>-196</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>9,715</td>
<td>100.0</td>
<td>1,775</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。

### エリア別売上高・営業利益（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>米国</td>
<td>2,275</td>
<td>23.4</td>
</tr>
<tr>
<td>カナダ・中南米</td>
<td>448</td>
<td>4.6</td>
</tr>
<tr>
<td>欧州</td>
<td>1,034</td>
<td>10.7</td>
</tr>
<tr>
<td>アジア・太平洋</td>
<td>5,783</td>
<td>59.5</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>175</td>
<td>1.8</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>9,715</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。

### その他関連指標（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>1,045</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額売上高比</td>
<td>10.75</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>709</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費売上高比</td>
<td>7.30</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>10.22</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>7.34</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>71.78</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートより作成。
①事業別設備投資額の内訳

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>投資額（百万USドル）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ディスプレイテクノロジ事業</td>
<td>492</td>
</tr>
<tr>
<td>オプティカルコミュニケーション事業</td>
<td>145</td>
</tr>
<tr>
<td>環境テクノロジ事業</td>
<td>173</td>
</tr>
<tr>
<td>エコサイエンス事業</td>
<td>30</td>
</tr>
<tr>
<td>特殊素材事業</td>
<td>104</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>101</td>
</tr>
</tbody>
</table>

②事業別研究開発費の内訳

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>研究開発費（百万USドル）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ディスプレイテクノロジ事業</td>
<td>138</td>
</tr>
<tr>
<td>オプティカルコミュニケーション事業</td>
<td>141</td>
</tr>
<tr>
<td>環境テクノロジ事業</td>
<td>91</td>
</tr>
<tr>
<td>エコサイエンス事業</td>
<td>22</td>
</tr>
<tr>
<td>特殊素材事業</td>
<td>140</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>177</td>
</tr>
</tbody>
</table>

③ガラス関連事業に関して

コーニング・インコーポレイテッドでは、ガラス事業といううくり設けていない。
2014年第4四半期では、LCDガラス生産量は予想を上回る一方、ガラス価格の低下幅は第3四半期よりも縮小し、価格低下の鈍化傾向が続く。
今後の展望としては、次のようなものが挙げられる。
・ディスプレイテクノロジ部門におけるLCDガラス生産量は、非常に好調だった2014年第4四半期と比べて、横ばいもしくは微増と予想。ただし、この部門はSamsung Corning Precision Materialsを買収したことにより、今後の業績拡大が期待されている。
・オプティカルコミュニケーション部門は、堅調な業績が続いており、第1四半期の売上高も、前年同期比で10%を超える成長を予想。
・環境テクノロジ部門とライフサイエンス部門の第1四半期売上高は、前年同期比で横ばいと予想。
・スペシャリティマテリアルズ部門の売上高は、前年同期比で約10%の成長を見込む。これは2014年の第3四半期から第4四半期に発売された製品が新製品Gorilla Glassの需要を押し上げると予測されるため。
①企業概要

Compagnie De Saint Gobain
（日本語でサンゴバンと称されている）

本社所在地
Les Miroirs- 18. avenue d’ Alsace, F-92400 Courbevoie, Mailing address: Les Miroirs, 92096 La Défense Cedex, France

資本金 17,870 百万ユーロ
従業員数（グループ合計） 185,364 人

企業特徴
1665 年にフランスで設立された王立鏡面ガラス製作所を起源とする。グループ全体としては、革新的材料、建築用製品、建材流通、容器の４事業を展開。

製造している主な製品は次のようなものがある。
・板ガラス（建築用ガラス、太陽光発電用ガラス、自動車ガラス、ガラスセラミック）
・建築用製品（グラスウール製品、アドフォース製品）
・研磨材製品
・機能樹脂（軸受け、シール、チューブ・ホース、フッ素樹脂フィルム、ウィンドウフィルム、フッ素樹脂製材料）
・セラミック製品（高機能 グレイン＆パウダー、電解耐火物、触媒製品、クリスタル製品、高性能耐火物製品）

②企業経営状況（グループ全体）
＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012 年 12 月期</td>
<td>43,186</td>
<td>1,983</td>
<td>4.59</td>
</tr>
<tr>
<td>2013 年 12 月期</td>
<td>42,018</td>
<td>1,891</td>
<td>4.50</td>
</tr>
</tbody>
</table>

単位：百万ユーロ、％

出所：HOOVERS.com のデータベースにより作成。
### 事業別売上高・営業利益 (2013 年 12 月期)

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>板ガラス</td>
<td>4,996</td>
<td>11.9</td>
<td>138</td>
</tr>
<tr>
<td>高性能素材</td>
<td>4,086</td>
<td>9.7</td>
<td>520</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント間重複分</td>
<td>-12</td>
<td>0.0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>9,070</td>
<td>21.6</td>
<td>658</td>
</tr>
<tr>
<td>革新的材料事業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>内装用</td>
<td>5,905</td>
<td>14.0</td>
<td>480</td>
</tr>
<tr>
<td>外装用</td>
<td>5,678</td>
<td>13.5</td>
<td>519</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント間重複分</td>
<td>-58</td>
<td>-0.1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>11,525</td>
<td>27.4</td>
<td>999</td>
</tr>
<tr>
<td>建築用製品事業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>内装用</td>
<td>5,905</td>
<td>14.0</td>
<td>480</td>
</tr>
<tr>
<td>外装用</td>
<td>5,678</td>
<td>13.5</td>
<td>519</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント間重複分</td>
<td>-58</td>
<td>-0.1</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>11,525</td>
<td>27.4</td>
<td>999</td>
</tr>
<tr>
<td>建材流通事業</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>容器事業</td>
<td>3,616</td>
<td>8.6</td>
<td>462</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>-959</td>
<td>-2.3</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>42,025</td>
<td>100.0</td>
<td>2,764</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所: 2013年アニュアルレポートにより作成。

### エリア別売上高・営業利益 (2013 年 12 月期)

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>フランス</td>
<td>11,743</td>
<td>27.9</td>
<td>582</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の欧州</td>
<td>17,587</td>
<td>41.8</td>
<td>746</td>
</tr>
<tr>
<td>北米</td>
<td>5,917</td>
<td>14.1</td>
<td>751</td>
</tr>
<tr>
<td>新興国:アジア</td>
<td>8,564</td>
<td>20.4</td>
<td>685</td>
</tr>
<tr>
<td>その他 (内部売上)</td>
<td>-1,786</td>
<td>-4.2</td>
<td>0</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>42,025</td>
<td>100.0</td>
<td>2,764</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所: 2013年アニュアルレポートにより作成。
その他関連指標（2013年12月期）

単位：百万ユーロ、％

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数 値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>1,050</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>2.50</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>3.39</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>1.30</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>38.33</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年報アニュアルレポート及びHOOVERs.comのデータベースにより作成。

※1 製品別設備投資額の内訳

<table>
<thead>
<tr>
<th>品目</th>
<th>数 値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>板ガラス</td>
<td>234 百万ユーロ</td>
</tr>
<tr>
<td>高性能素材</td>
<td>178 百万ユーロ</td>
</tr>
<tr>
<td>建築用製品</td>
<td>433 百万ユーロ</td>
</tr>
<tr>
<td>建築流動</td>
<td>205 百万ユーロ</td>
</tr>
</tbody>
</table>

③ガラス関連事業に関して

古くは1690年にベルサイユ宮殿の鏡の間に使われた357枚の鏡を制作した。パリ万博会場などの工事を手掛けており、大規模建築向けガラスに強い。「革新的材料事業」、「建築用製品事業」、またはそれ以外のセクターの一環として板ガラスおよび建築用ガラスを製造。省エネ、高効率なガラスなどを開発。フランスをはじめヨーロッパを中心に採用されている。

板ガラスを含む同社の革新的材料事業や建築用製品事業の概要（2013年）は、次の通り。

<table>
<thead>
<tr>
<th>単位：百万ユーロ、％</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
</tr>
<tr>
<td>4,996</td>
</tr>
<tr>
<td>売上高営業利益</td>
</tr>
<tr>
<td>営業利益</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額</td>
</tr>
<tr>
<td>地域別売上高構成比</td>
</tr>
<tr>
<td>フランス</td>
</tr>
<tr>
<td>その他の欧州</td>
</tr>
<tr>
<td>北米</td>
</tr>
<tr>
<td>新興国：アジア</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年アニュアルレポート
サンゴバングループにおける板ガラスの主要生産企業（年間売上高 100 百万ユーロ以上）は、次の通り。

<table>
<thead>
<tr>
<th>社名</th>
<th>出資率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass France France</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Sekurit France France</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass Logistics France</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Sekurit Deutschland GmbH &amp; CO Kg Germany</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass Deutschland GmbH Germany</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Deutsche Glas GmbH Germany</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass Benelux Belgium</td>
<td>99.97</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Sekurit Benelux SA Belgium</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Autover Distribution SA Belgium</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Cebrace Cristal Plano Ltda Brazil</td>
<td>50.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Do Brasil Ltda Brazil</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Hankuk Glass Industries Inc. South Korea</td>
<td>80.47</td>
</tr>
<tr>
<td>Hankuk Sekurit Limited South Korea</td>
<td>90.13</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Cristaleria S.L Spain</td>
<td>99.83</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass India Ltd India</td>
<td>98.71</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass Italia S.p.a Italy</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Sekurit Italia Italy</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass Mexico Mexico</td>
<td>99.83</td>
</tr>
<tr>
<td>Koninklijke Saint-Gobain Glass Nederland Netherlands</td>
<td>100.00</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass Polska Sp Zoo Poland</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Sekurit Hanglas Polska Sp Zoo Poland</td>
<td>97.61</td>
</tr>
<tr>
<td>Glassolutions Saint-Gobain Ltd (Solaglas) United Kingdom</td>
<td>99.99</td>
</tr>
<tr>
<td>Saint-Gobain Glass UK Limited United Kingdom</td>
<td>99.99</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013 年アニュアルレポート
4. 中国企業～FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP CO., LTD.

①企業概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業名</th>
<th>FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP CO., LTD.（中国語：福耀玻璃工業集団股份有限公司）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>中国福建省福清市福耀工業村Ⅱ区</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>2,003百万人民元</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数</td>
<td>21,157人</td>
</tr>
</tbody>
</table>

企業特徴
同社は1987年中国福建省福州市で設立。自動車用安全ガラス及び工業技術用ガラスを製造する合資企業である。1993年、同業界最初の企業として上海証券取引所に上場した。
・1993年6月上場〜2002年は、自動車用ガラス製品の製造、販売を主要業務としていた。
2003年以降は、自動車用ガラス及びフロートガラスの製造販売を主要業務として取り扱う。
・同社は輸出量最大の中国国内自動車用ガラス製造企業である。「FY」ブランドは中国自動車用ガラス製造業界の初の「中国馳名商標」として登録された。

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年12月期</td>
<td>10,247</td>
<td>2,056</td>
<td>20.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年12月期</td>
<td>11,501</td>
<td>2,502</td>
<td>21.8</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年12月期</td>
<td>12,928</td>
<td>2,877</td>
<td>22.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：同社各年のアニュアルレポートにより作成。

＜事業別売上高・営業利益＞（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ガラス</td>
<td>12,656</td>
<td>97.9</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>272</td>
<td>2.1</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>12,928</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。
### その他関連指標（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数 値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>2,140</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>16.5</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>518</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>4.0</td>
</tr>
<tr>
<td>製造原価</td>
<td>9,519</td>
</tr>
<tr>
<td>内、原材料費</td>
<td>5,648</td>
</tr>
<tr>
<td>原材料費</td>
<td>59.3</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>25.2</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>13.1</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>52.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートより作成。

### ③ガラス関連事業に関して

FUYAO GLASS INDUSTRY GROUP CO., LTD.の主要事業は、ガラス事業である。

#### <セグメント別ガラス事業売上高>

<table>
<thead>
<tr>
<th>セグメント名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>自動車用ガラス</td>
<td>12,439</td>
<td>98.3</td>
</tr>
<tr>
<td>フロートガラス</td>
<td>2,130</td>
<td>16.8</td>
</tr>
<tr>
<td>その他のガラス</td>
<td>215</td>
<td>1.7</td>
</tr>
<tr>
<td>減:グループ内部相殺</td>
<td>-2,128</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ガラス事業計</td>
<td>12,656</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。

#### <エリア別ガラス事業売上高>

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>中国国内</td>
<td>8,350</td>
<td>66.0</td>
</tr>
<tr>
<td>海外</td>
<td>4,306</td>
<td>34.0</td>
</tr>
<tr>
<td>ガラス事業計</td>
<td>12,656</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。
（5）中国企業～XINYI GLASS HOLDINGS LIMITED

①企業概要

| 企業名 | XINYI GLASS HOLDINGS LIMITED  
（中国語：信義玻璃控股有限公司） |
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>香港新界大埔白石角香港科学園 2 期科技大道東 16 号海濱ビル 2 座 3 階</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>392,137 千香港ドル</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>約 15,000 人</td>
</tr>
<tr>
<td>企業特徴</td>
<td>1988 年に設立。2005年2月香港で上場。中国国内には7つの製造基地を設けている。 主にフロートガラス、太陽発電用ガラス、自動車用ガラス、建築用ガラス及びその他関連製品を製造・販売している。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2011 年 12 月期</td>
<td>1,059</td>
<td>200</td>
<td>18.86</td>
</tr>
<tr>
<td>2012 年 12 月期</td>
<td>1,262</td>
<td>187</td>
<td>14.78</td>
</tr>
<tr>
<td>2013 年 12 月期</td>
<td>1,282</td>
<td>473</td>
<td>36.89</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：HOOVERS.com のデータベースにより作成。

なお、同社事業はガラス事業のみ、売上高の 100％を占めている。

＜その他関連指標＞（2013 年 12 月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>2,383</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>24.0</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>26.41</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>16.41</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>62.12</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年アニュアルレポート及びHOOVERS.comのデータベースにより作成。
③ガラス関連事業に関して
XINYI GLASS HOLDINGS LIMITEDは、ガラス事業のみ行っている。

＜セグメント別ガラス事業売上高＞（2013年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>セグメント名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>フロートガラス</td>
<td>4,494</td>
<td>45.2</td>
</tr>
<tr>
<td>自動車用ガラス</td>
<td>3,287</td>
<td>33.1</td>
</tr>
<tr>
<td>建築用ガラス</td>
<td>2,155</td>
<td>21.7</td>
</tr>
<tr>
<td>ガラス事業計</td>
<td>9,936</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年アニュアルレポートにより作成。
注：2013年12月、同社は太陽光発電ガラス事業を分離させた。その部分の収入は特別損益として計上されている。ちなみに、同年太陽光発電ガラス事業の売上高は1,846百万香港ドルである。

＜エリア別ガラス事業売上高＞（2013年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>中華圏（中国、香港）</td>
<td>7,119</td>
<td>71.6</td>
</tr>
<tr>
<td>北米</td>
<td>875</td>
<td>8.8</td>
</tr>
<tr>
<td>歐州</td>
<td>473</td>
<td>4.8</td>
</tr>
<tr>
<td>その他地域</td>
<td>1,470</td>
<td>14.8</td>
</tr>
<tr>
<td>ガラス事業計</td>
<td>9,936</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2013年アニュアルレポートにより作成。
(6) 韓国企業～KCC Corporation

①企業概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業名</th>
<th>KCC Corporation</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>（日本語で KCC コーポレーションと称されている）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>137-703 SAPYUNG-DAERO 344, SEOCHO-DONG, SEOCHO-GU, SEOUL, KOREA.</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>4,990,082 百万ウォン</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>4,802 人</td>
</tr>
<tr>
<td>企業特徴</td>
<td>1958 年ガラス、窓、ドア、内装・外装・フローリング素材など建築資材メーカーとして創業。その他、シリコン、塗料（建築用・自動車用・工場用など）、特殊素材（繊維ガラス、セラミック基板など）の分野にも参入している。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012 年 12 月期</td>
<td>3,246,228</td>
<td>198,949</td>
<td>6.13</td>
</tr>
<tr>
<td>2013 年 12 月期</td>
<td>3,233,043</td>
<td>231,743</td>
<td>7.17</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：同社各年のアニュアルレポートにより作成。

＜その他関連指標＞（2013年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>5.78</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>4.15</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>71.77</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：HOOVERS.com のデータベースにより作成。

③ガラス関連事業に関して

ガラス事業に関する情報は、2013年アニュアルレポートなどにおいては特に記載されていない。
（7）日本企業～Asahi Glass Company, Limited

①企業概要

| 企業名 | Asahi Glass Company, Limited  
(日本語: 旭硝子株式会社) |
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>東京都千代田区丸の内1-5-1</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>90,873百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>51,100人</td>
</tr>
<tr>
<td>企業特徴</td>
<td>世界最大手のガラスメーカー。グループは、子会社219社、関連会社46社で構成される。ガラスの他、電子部材、化学品を扱う。三菱グループに属する。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年12月期</td>
<td>1,189,952</td>
<td>101,751</td>
<td>8.5</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年12月期</td>
<td>1,320,006</td>
<td>79,894</td>
<td>6.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年12月期</td>
<td>1,348,308</td>
<td>62,131</td>
<td>4.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：同社各年のアニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。

＜事業別売上高・営業利益＞（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ガラス</td>
<td>712,700</td>
<td>52.9</td>
<td>600</td>
</tr>
<tr>
<td>電子</td>
<td>297,700</td>
<td>22.0</td>
<td>36,200</td>
</tr>
<tr>
<td>化学品</td>
<td>317,200</td>
<td>23.5</td>
<td>24,100</td>
</tr>
<tr>
<td>セラミックスその他</td>
<td>80,800</td>
<td>6.0</td>
<td>1,100</td>
</tr>
<tr>
<td>消去または全社</td>
<td>-60,200</td>
<td>-</td>
<td>200</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1,348,300</td>
<td>100</td>
<td>62,100</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。
### エリア別売上高・営業利益 (2014年12月期)

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>日本・アジア</td>
<td>938,300</td>
<td>69.6</td>
<td>103,600</td>
</tr>
<tr>
<td>アメリカ</td>
<td>139,900</td>
<td>10.3</td>
<td>-4,900</td>
</tr>
<tr>
<td>ヨーロッパ</td>
<td>313,000</td>
<td>23.2</td>
<td>-3,800</td>
</tr>
<tr>
<td>消去</td>
<td>-44,500</td>
<td></td>
<td>300</td>
</tr>
<tr>
<td>合 計</td>
<td>1,348,300</td>
<td>100.0</td>
<td>62,100</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。

### その他関連指標 (2014年12月期)

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>118,200</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>8.8</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>44,800</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>3.3</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>1.7</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>1.0</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>56.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。

* 設備投資額の内訳

<table>
<thead>
<tr>
<th>内訳</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ガラス</td>
<td>44,600百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>電子</td>
<td>43,000百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>化学品</td>
<td>30,100百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>セラミック他</td>
<td>400百万円</td>
</tr>
</tbody>
</table>
③ガラス関連事業に関して
2014年における旭硝子株式会社のガラス関連事業の状況は、下記のとおり。

＜ガラス事業関連指標＞

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>板ガラス</th>
<th>自動車ガラス</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>373,100</td>
<td>339,600</td>
<td>712,700</td>
</tr>
<tr>
<td>構成比</td>
<td>52.3</td>
<td>47.6</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

エリア別売上高

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>日本・アジア</th>
<th>アメリカ</th>
<th>ヨーロッパ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>148,000</td>
<td>45,900</td>
<td>191,200</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>176,700</td>
<td>66,900</td>
<td>101,700</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<p>| | | | |</p>
<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
<th></th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>備え投資額</td>
<td>44,600</td>
<td>6.3</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。

＜電子事業関連指標＞（2014年12月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>金 額</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>セグメント別売上高</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ディスプレイ</td>
<td>233,900</td>
<td>78.6</td>
</tr>
<tr>
<td>電子部材</td>
<td>63,800</td>
<td>21.4</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>297,700</td>
<td>100.0</td>
</tr>
<tr>
<td>備え投資額</td>
<td>43,000</td>
<td>—</td>
</tr>
<tr>
<td>備え投資額対売上高比</td>
<td>14.4</td>
<td>—</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。
①企業概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業名</th>
<th>Nippon Sheet Glass Company,Limited（日本板硝子株式会社）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>東京都港区三田 13-5-27 住友不動産三田ツインビル 西館</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>116,449百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>27,029人</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 企業特徴       | ガラス売上国内2位。建築用ガラス・自動車用ガラスが9割を占める。同分野での世界的メーカー。
                 | グループは子会社206社、関連会社27社で構成される。住友グループに属する。 |

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年3月期</td>
<td>552,223</td>
<td>4,386</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年3月期</td>
<td>521,346</td>
<td>-17,258</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年3月期</td>
<td>606,095</td>
<td>734</td>
<td>0.1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：同社各年のアニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。

＜事業別売上高・営業利益＞（2014年3月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>建築用ガラス</td>
<td>240,606</td>
<td>39.7</td>
<td>10,951</td>
</tr>
<tr>
<td>自動車用ガラス</td>
<td>305,114</td>
<td>50.3</td>
<td>11,154</td>
</tr>
<tr>
<td>高機能ガラス</td>
<td>59,355</td>
<td>9.8</td>
<td>5,898</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1,020</td>
<td>0.2</td>
<td>-13,436</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>606,095</td>
<td>100.0</td>
<td>14,567</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年3月期アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。
### エリア別売上高（2014年3月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>増減比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>日本</td>
<td>156,700</td>
<td>25.9</td>
</tr>
<tr>
<td>欧洲</td>
<td>241,900</td>
<td>39.9</td>
</tr>
<tr>
<td>北米</td>
<td>98,300</td>
<td>16.2</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>109,200</td>
<td>18.0</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>606,100</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年3月期アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。

### その他関連指標（2014年3月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>31,600</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>5.2</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>7,900</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>1.3</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>-%</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>-%</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>18.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年3月期アニュアルレポートより作成。決算はIFRS基準。

③ガラス関連事業に関して

2014年3月期における日本板硝子株式会社のガラス関連事業状況は、下記のとおり。

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>建築用ガラス</th>
<th>自動車用ガラス</th>
<th>高機能ガラス</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>240,606</td>
<td>305,114</td>
<td>59,355</td>
</tr>
<tr>
<td>エリア別売上高</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>日本</td>
<td>73,900</td>
<td>50,700</td>
<td>31,200</td>
</tr>
<tr>
<td>欧州</td>
<td>92,300</td>
<td>141,600</td>
<td>7,900</td>
</tr>
<tr>
<td>北米</td>
<td>24,500</td>
<td>72,600</td>
<td>1,200</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>49,900</td>
<td>40,200</td>
<td>19,100</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>4,600</td>
<td>10,700</td>
<td>14,100</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>1.9</td>
<td>3.5</td>
<td>23.8</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>2,700</td>
<td>2,800</td>
<td>1,100</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>1.1</td>
<td>0.9</td>
<td>1.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年3月期アニュアルレポートにより作成。決算はIFRS基準。
（9）日本企業〜Central Glass Co., Ltd.

①企業概要

企業名
Central Glass Co., Ltd. 　（日本語: セントラル硝子株式会社）

本社所在地
東京都千代田区神田錦町 3-7-1 興和一橋ビル

資本金
18,168百万円

従業員数（グループ合計）
5,947人

企業特徴
国内ガラスメーカー第3位。ガラスの他、化成品が主力製品である。グループは、子会社45社、関連会社17社で構成される。2014年11月に米国ガーディアンの自動車用2子会社を買収した。

②企業経営状況（グループ全体）

<全社業績>

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2012年3月期</td>
<td>167,479</td>
<td>5,823</td>
<td>3.5</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年3月期</td>
<td>173,543</td>
<td>7,555</td>
<td>4.4</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年3月期</td>
<td>191,581</td>
<td>10,111</td>
<td>5.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各期アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準。

<事業別売上高・営業利益>（2014年3月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
<th>営業利益</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ガラス</td>
<td>104,803</td>
<td>54.7</td>
<td>-60</td>
</tr>
<tr>
<td>化成品</td>
<td>86,778</td>
<td>45.3</td>
<td>10,176</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>191,581</td>
<td>100</td>
<td>10,111</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年3月期アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準
エリア別売上高（2014 年 3 月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>エリア名</th>
<th>売上高</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>日本</td>
<td>120,071</td>
<td>62.7</td>
</tr>
<tr>
<td>北米</td>
<td>43,399</td>
<td>22.7</td>
</tr>
<tr>
<td>アジア</td>
<td>11,781</td>
<td>6.1</td>
</tr>
<tr>
<td>欧州</td>
<td>14,757</td>
<td>7.7</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1,570</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>191,581</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014 年 3 月期アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準。

その他関連指標（2014 年 3 月期）

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>8,800</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>4.6</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>5,400</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>2.8</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>3.7</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>2.1</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>56.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014 年 3 月期アニュアルレポートより作成。決算は日本基準。

③ガラス関連事業に関して

2014 年 3 月期におけるセントラル硝子株式会社のガラス関連事業状況は、下記のとおり。

<table>
<thead>
<tr>
<th>ガラス事業</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>104,800</td>
</tr>
<tr>
<td>建築用ガラス</td>
<td>41,700</td>
</tr>
<tr>
<td>自動車用ガラス</td>
<td>57,500</td>
</tr>
<tr>
<td>電子材料用ガラス</td>
<td>5,600</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>4,700</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>4.5</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>1,800</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>1.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014 年 3 月期アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準。
（１０）日本企業～Nippon Electric Glass Co., Ltd.

①企業概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>企業名</th>
<th>Nippon Electric Glass Co., Ltd. （日本語：日本電気硝子株式会社）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>本社所在地</td>
<td>滋賀県大津市晴嵐 2-7-1</td>
</tr>
<tr>
<td>資本金</td>
<td>32,155 百万円</td>
</tr>
<tr>
<td>従業員数（グループ合計）</td>
<td>5,084 人</td>
</tr>
<tr>
<td>企業特徴</td>
<td>電子・情報用ガラスが主力。韓国、台湾などの海外向け売上が8割を占める。グループは、子会社22社、関連会社2社で構成される。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

②企業経営状況（グループ全体）

＜全社業績＞

<table>
<thead>
<tr>
<th>決算期</th>
<th>総売上高</th>
<th>営業利益</th>
<th>利益率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2013年3月期</td>
<td>287,303</td>
<td>24,967</td>
<td>8.7</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年3月期</td>
<td>252,548</td>
<td>16,170</td>
<td>6.4</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年12月期（9ヶ月）</td>
<td>192,692</td>
<td>5,233</td>
<td>2.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各期アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準。

また、同社はガラス事業のみ行っている。

（その他関連指標）（2014年12月期（9ヶ月））

<table>
<thead>
<tr>
<th>指標名</th>
<th>数値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>設備投資額</td>
<td>44,500</td>
</tr>
<tr>
<td>設備投資額対売上高比</td>
<td>23.0</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費</td>
<td>5,500</td>
</tr>
<tr>
<td>研究開発費対売上高比</td>
<td>2.9</td>
</tr>
<tr>
<td>ROE</td>
<td>1.1</td>
</tr>
<tr>
<td>ROA</td>
<td>0.8</td>
</tr>
<tr>
<td>自己資本比率</td>
<td>71.5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014年12月期（9ヶ月）アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準。
③ガラス関連事業に関して

2014 年 12 月期（9 ヶ月）における日本電気硝子株式会社のガラス関連事業状況は、下記のとおり。

単位：百万円、％

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>ガラス事業</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>売上高</td>
<td>192,600</td>
</tr>
<tr>
<td>セグメント別売上高</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>電子・情報用ガラス</td>
<td>133,600</td>
</tr>
<tr>
<td>その他用ガラス</td>
<td>59,000</td>
</tr>
<tr>
<td>エリア別売上高</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>日本</td>
<td>40,400</td>
</tr>
<tr>
<td>アジア</td>
<td>131,000</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>21,200</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：2014 年 12 月期（9 ヶ月）アニュアルレポートにより作成。決算は日本基準。
II. 中国のガラス産業の動向

1. 板ガラスの生産状況
   ① 板ガラスの生産実績推移

   生産能力や建築向け需要の増加などを受け、中国における板ガラスの生産量が増加し続けている。2014年生産実績は79,262万換算箱で、前年に比べ1.7%増加した。ただし、中国政府が推進している遅れた生産能力の淘汰や生産能力過剰の影響で、ここ数年の伸び率は鈍化する傾向にある。

<table>
<thead>
<tr>
<th>年次</th>
<th>生産量（万換算箱）</th>
<th>対前年比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2005年</td>
<td>36,574</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2006年</td>
<td>40,499</td>
<td>110.7</td>
</tr>
<tr>
<td>2007年</td>
<td>49,748</td>
<td>122.8</td>
</tr>
<tr>
<td>2008年</td>
<td>55,185</td>
<td>110.9</td>
</tr>
<tr>
<td>2009年</td>
<td>56,073</td>
<td>101.6</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年</td>
<td>63,026</td>
<td>112.4</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年</td>
<td>73,789</td>
<td>117.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年</td>
<td>71,417</td>
<td>96.8</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年</td>
<td>77,899</td>
<td>109.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年</td>
<td>79,262</td>
<td>101.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   出所：中国統計局のデータにより作成

   *1 2012年の生産量が2011年と比べ減少した理由としては、2011年の生産量急増で価格が低迷した影響と考えられる。
   *2 “換算箱”は、厚さ2mm、面積10㎡の板ガラスの数量をあらわす単位。

   1換算箱＝（0.002m×10㎡）×2500kg/㎡=50kg

単位：万換算箱、％
地域別の板ガラス生産実績（2013 年）
地域別板ガラスの生産実績をみると、河北省が最も多く、中国全体の 15.2%を占める。

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域別</th>
<th>生産量</th>
<th>構成比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>河北</td>
<td>11,836</td>
<td>15.2</td>
</tr>
<tr>
<td>広東</td>
<td>8,587</td>
<td>11.0</td>
</tr>
<tr>
<td>山東</td>
<td>8,280</td>
<td>10.6</td>
</tr>
<tr>
<td>湖北</td>
<td>8,133</td>
<td>10.4</td>
</tr>
<tr>
<td>江蘇</td>
<td>5,931</td>
<td>7.6</td>
</tr>
<tr>
<td>福建</td>
<td>5,243</td>
<td>6.7</td>
</tr>
<tr>
<td>四川</td>
<td>4,008</td>
<td>5.1</td>
</tr>
<tr>
<td>浙江</td>
<td>3,591</td>
<td>4.6</td>
</tr>
<tr>
<td>安徽</td>
<td>3,347</td>
<td>4.3</td>
</tr>
<tr>
<td>遼寧</td>
<td>3,016</td>
<td>3.9</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>15,928</td>
<td>20.4</td>
</tr>
<tr>
<td>中国全土</td>
<td>77,899</td>
<td>100.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

単位：万換算箱、％
出所：中国統計局のデータにより作成
③主な板ガラス製品の生産実績

2014年に板ガラス生産量の伸び率が1.7%と鈍化しているが、建築の省エネルギーの進展などにより低炭素製品の伸び率は高い。例えば、強化ガラスの伸び率は27.7%、複層ガラスは77.9%になっている。

出所：中国統計局のデータにより作成

〈強化ガラス〉

2013年、一部主要地域の強化ガラス生産実績は次の通り。

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域</th>
<th>万㎡</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>浙江省</td>
<td>7157</td>
</tr>
<tr>
<td>江蘇省</td>
<td>4120</td>
</tr>
<tr>
<td>上海市</td>
<td>2698</td>
</tr>
<tr>
<td>安徽省</td>
<td>2432</td>
</tr>
<tr>
<td>福建省</td>
<td>1411</td>
</tr>
</tbody>
</table>

單位：万㎡
④板ガラスの年間建設規模

下図に示すように、2008年及び2010年の板ガラス工事施工規模及び新設生産能力が多いことがわかる。

<table>
<thead>
<tr>
<th>年次</th>
<th>板ガラス年間工事規模</th>
<th>板ガラス年間新設生産能力</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>規模</td>
<td>対前年比</td>
</tr>
<tr>
<td>2005年</td>
<td>17,048</td>
<td>—</td>
</tr>
<tr>
<td>2006年</td>
<td>8,887</td>
<td>52.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2007年</td>
<td>12,522</td>
<td>140.9</td>
</tr>
<tr>
<td>2008年</td>
<td>40,633</td>
<td>324.5</td>
</tr>
<tr>
<td>2009年</td>
<td>18,936</td>
<td>46.6</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年</td>
<td>34,455</td>
<td>182.0</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年</td>
<td>25,015</td>
<td>72.6</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年</td>
<td>15,006</td>
<td>60.0</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年</td>
<td>16,181</td>
<td>107.8</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国統計局のデータにより作成
2. フロートガラスの生産状況

①フロートライン・フロートガラスの生産能力

2014年に中国建築玻璃工業玻璃協会が集計した、重点監視対象となるフロートガラス企業は89社（子会社数を除く）で、生産能力は合計112,800万換算箱である。

ここ数年、中国建築玻璃工業玻璃協会が重点監視対象となるフロートガラス企業（板ガラスの1つの製法）の生産状況は、次の通り。

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>2012年</th>
<th>2013年</th>
<th>2014年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>フロートガラス生産企業(社)</td>
<td>86</td>
<td>89</td>
<td>89</td>
</tr>
<tr>
<td>フロートライン(本)</td>
<td>274</td>
<td>300</td>
<td>312</td>
</tr>
<tr>
<td>内、稼動中</td>
<td>213</td>
<td>240</td>
<td>246</td>
</tr>
<tr>
<td>メンテナンス・生産停止</td>
<td>61</td>
<td>60</td>
<td>66</td>
</tr>
<tr>
<td>フロートガラス生産能力(万換算箱)</td>
<td>107,233</td>
<td>107,100</td>
<td>112,800</td>
</tr>
<tr>
<td>内、稼動中</td>
<td>88,189</td>
<td>91,100</td>
<td>94,100</td>
</tr>
<tr>
<td>メンテナンス・生産停止</td>
<td>19,035</td>
<td>16,000</td>
<td>18,700</td>
</tr>
<tr>
<td>板ガラス生産能力(万換算箱)</td>
<td>126,000</td>
<td>126,800</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃工業玻璃協会のデータにより作成

中国におけるフロートガラスの生産能力が板ガラス全体の9割弱を占めている。
また、2014年のフロートガラス生産量63,558万換算箱、生産能力112,800万換算箱を用いて試算すると、中国におけるフロートラインの稼働率は56.3%である。

〈フロートライン・フロートガラス生産能力の推移〉

不動産や自動車産業の成長及び2009年から2010年までに実施された4兆元投資政策（内需拡大による経済成長促進の政策）の実行により、フロートラインの設置数及びフロートガラスの生産能力が急速に拡大している。
単位: 本、万換算箱

<table>
<thead>
<tr>
<th>年次</th>
<th>生産ライン</th>
<th>生産能力(設計上)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2000年</td>
<td>64</td>
<td>17,300</td>
</tr>
<tr>
<td>2001年</td>
<td>79</td>
<td>21,600</td>
</tr>
<tr>
<td>2002年</td>
<td>90</td>
<td>25,600</td>
</tr>
<tr>
<td>2003年</td>
<td>93</td>
<td>33,400</td>
</tr>
<tr>
<td>2004年</td>
<td>117</td>
<td>42,500</td>
</tr>
<tr>
<td>2005年</td>
<td>142</td>
<td>48,000</td>
</tr>
<tr>
<td>2006年</td>
<td>160</td>
<td>48,200</td>
</tr>
<tr>
<td>2007年</td>
<td>178</td>
<td>54,800</td>
</tr>
<tr>
<td>2008年</td>
<td>192</td>
<td>60,300</td>
</tr>
<tr>
<td>2009年</td>
<td>215</td>
<td>69,100</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年</td>
<td>241</td>
<td>79,800</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年</td>
<td>265</td>
<td>91,400</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年</td>
<td>274</td>
<td>107,233</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年</td>
<td>300</td>
<td>107,100</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年</td>
<td>312</td>
<td>112,800</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会のデータにより作成

〈地域別フロートライン設置状況〉(2013 年末現在)

下表のフロートライン設置地域からみると、中国におけるフロートガラスの最も重要な生産基地は河北省である。

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域別</th>
<th>フロートライン(本)</th>
<th>フロートガラス生産能力(トン/日)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>河北省</td>
<td>69</td>
<td>42,800</td>
</tr>
<tr>
<td>広東省</td>
<td>26</td>
<td>17,400</td>
</tr>
<tr>
<td>江蘇省</td>
<td>24</td>
<td>14,950</td>
</tr>
<tr>
<td>山東省</td>
<td>25</td>
<td>14,750</td>
</tr>
<tr>
<td>湖南省</td>
<td>16</td>
<td>11,150</td>
</tr>
<tr>
<td>浙江省</td>
<td>17</td>
<td>8,250</td>
</tr>
<tr>
<td>福建省</td>
<td>13</td>
<td>8,000</td>
</tr>
<tr>
<td>遼寧省</td>
<td>12</td>
<td>7,170</td>
</tr>
<tr>
<td>安徽省</td>
<td>11</td>
<td>6,950</td>
</tr>
<tr>
<td>四川省</td>
<td>9</td>
<td>5,770</td>
</tr>
<tr>
<td>河南省</td>
<td>12</td>
<td>5,650</td>
</tr>
<tr>
<td>陝西省</td>
<td>8</td>
<td>4,500</td>
</tr>
<tr>
<td>天津市</td>
<td>6</td>
<td>4,200</td>
</tr>
<tr>
<td>山西省</td>
<td>8</td>
<td>4,080</td>
</tr>
<tr>
<td>内モンゴル</td>
<td>7</td>
<td>3,200</td>
</tr>
<tr>
<td>重慶市</td>
<td>4</td>
<td>2,550</td>
</tr>
<tr>
<td>江西省</td>
<td>4</td>
<td>2,400</td>
</tr>
<tr>
<td>湖南省</td>
<td>4</td>
<td>2,100</td>
</tr>
<tr>
<td>新疆</td>
<td>4</td>
<td>2,000</td>
</tr>
<tr>
<td>吉林省</td>
<td>3</td>
<td>1,860</td>
</tr>
<tr>
<td>海南省</td>
<td>3</td>
<td>1,800</td>
</tr>
<tr>
<td>青海省</td>
<td>4</td>
<td>1,770</td>
</tr>
<tr>
<td>北京市</td>
<td>3</td>
<td>1,300</td>
</tr>
<tr>
<td>黑龍江</td>
<td>2</td>
<td>930</td>
</tr>
<tr>
<td>甘粛省</td>
<td>2</td>
<td>900</td>
</tr>
<tr>
<td>広西</td>
<td>2</td>
<td>900</td>
</tr>
<tr>
<td>青海省</td>
<td>1</td>
<td>600</td>
</tr>
<tr>
<td>貴州省</td>
<td>1</td>
<td>500</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>300</td>
<td>178,430</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会のデータにより作成
主なフロートガラス製造企業

2013年末現在の生産能力でランキングされた上位10社（グループ企業）は次の通り。

<table>
<thead>
<tr>
<th>社名（グループ）</th>
<th>中国全体の生産能力に占める割合（%）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>株洲旗濱集団股分有限公司</td>
<td>8.3</td>
</tr>
<tr>
<td>信儀集団（玻璃）有限公司</td>
<td>7.1</td>
</tr>
<tr>
<td>江蘇華爾潤集団有限公司</td>
<td>7.0</td>
</tr>
<tr>
<td>台湾玻璃中国控股有限公司</td>
<td>5.3</td>
</tr>
<tr>
<td>河北迎新玻璃集団公司</td>
<td>5.2</td>
</tr>
<tr>
<td>沙河市安全実業有限公司</td>
<td>4.6</td>
</tr>
<tr>
<td>金晶（集団）有限公司</td>
<td>4.1</td>
</tr>
<tr>
<td>中国玻璃控股有限公司</td>
<td>3.9</td>
</tr>
<tr>
<td>中国南玻集団股分有限公司</td>
<td>3.7</td>
</tr>
<tr>
<td>沙河市長城玻璃有限公司</td>
<td>3.1</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会のデータより作成。

フロートガラスの生産実績推移

中国におけるフロートガラスの生産量が増加している。

<table>
<thead>
<tr>
<th>年次</th>
<th>生産実績</th>
<th>対前年比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2008年</td>
<td>41,073</td>
<td>—</td>
</tr>
<tr>
<td>2009年</td>
<td>40,030</td>
<td>97.5</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年</td>
<td>48,062</td>
<td>120.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年</td>
<td>54,905</td>
<td>114.2</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年</td>
<td>50,975</td>
<td>92.8</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年</td>
<td>59,239</td>
<td>116.2</td>
</tr>
<tr>
<td>2014年</td>
<td>63,558</td>
<td>107.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会のデータにより作成
※この生産量は中国建築玻璃与工業玻璃協会が重点監視企業に対する集計結果である。
地域別のフロートガラス生産・出荷実績（2013年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域別</th>
<th>企業数(社)</th>
<th>生産量（万換算箱）</th>
<th>出荷量（万換算箱）</th>
<th>在庫（万換算箱）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>生産期首</td>
<td>生産期末</td>
<td>出荷期首</td>
</tr>
<tr>
<td>河北</td>
<td>13</td>
<td>18,895</td>
<td>18,888</td>
<td>1,090</td>
</tr>
<tr>
<td>山東</td>
<td>5</td>
<td>7,674</td>
<td>7,674</td>
<td>429</td>
</tr>
<tr>
<td>広東</td>
<td>7</td>
<td>4,679</td>
<td>4,600</td>
<td>394</td>
</tr>
<tr>
<td>湖南</td>
<td>1</td>
<td>4,548</td>
<td>4,450</td>
<td>232</td>
</tr>
<tr>
<td>江蘇</td>
<td>4</td>
<td>3,919</td>
<td>3,961</td>
<td>48</td>
</tr>
<tr>
<td>湖北</td>
<td>2</td>
<td>2,607</td>
<td>2,573</td>
<td>89</td>
</tr>
<tr>
<td>四川</td>
<td>3</td>
<td>2,483</td>
<td>2,432</td>
<td>60</td>
</tr>
<tr>
<td>浙江</td>
<td>1</td>
<td>2,279</td>
<td>2,285</td>
<td>253</td>
</tr>
<tr>
<td>山西</td>
<td>1</td>
<td>2,225</td>
<td>1,997</td>
<td>71</td>
</tr>
<tr>
<td>福建</td>
<td>2</td>
<td>1,277</td>
<td>1,199</td>
<td>202</td>
</tr>
<tr>
<td>遼寧</td>
<td>3</td>
<td>1,230</td>
<td>1,234</td>
<td>32</td>
</tr>
<tr>
<td>安徽</td>
<td>2</td>
<td>1,207</td>
<td>1,064</td>
<td>70</td>
</tr>
<tr>
<td>陕西</td>
<td>3</td>
<td>1,003</td>
<td>923</td>
<td>127</td>
</tr>
<tr>
<td>河南</td>
<td>2</td>
<td>998</td>
<td>972</td>
<td>64</td>
</tr>
<tr>
<td>海南</td>
<td>1</td>
<td>777</td>
<td>814</td>
<td>115</td>
</tr>
<tr>
<td>江西</td>
<td>1</td>
<td>663</td>
<td>659</td>
<td>28</td>
</tr>
<tr>
<td>広西</td>
<td>1</td>
<td>638</td>
<td>666</td>
<td>91</td>
</tr>
<tr>
<td>甘粛</td>
<td>1</td>
<td>600</td>
<td>562</td>
<td>51</td>
</tr>
<tr>
<td>内モンゴル</td>
<td>3</td>
<td>436</td>
<td>436</td>
<td>53</td>
</tr>
<tr>
<td>天津</td>
<td>1</td>
<td>405</td>
<td>386</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>黒竜江</td>
<td>1</td>
<td>404</td>
<td>326</td>
<td>87</td>
</tr>
<tr>
<td>吉林</td>
<td>1</td>
<td>290</td>
<td>316</td>
<td>102</td>
</tr>
<tr>
<td>雲南</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>154</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>60</td>
<td>59,240</td>
<td>58,215</td>
<td>3,842</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会のデータにより作成
＊この生産量は中国建築玻璃与工業玻璃協会が重点監視企業に対する集計結果である。
3. 板ガラス製品の出荷単価

「2014年建材産業経営状況」により、2014年板ガラスの年間平均価格は63.3元/換算箱で、前年に比べ4.1元低下した。

また、中国建築玻璃与工業玻璃協会の集計データによる製品規格別の価格は次の通り。

<table>
<thead>
<tr>
<th>製品規格</th>
<th>2013年10月</th>
<th>2014年9月</th>
<th>2014年10月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>無色 3mm</td>
<td>67.6元/換算箱</td>
<td>82.0元/換算箱</td>
<td>70.7元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>無色 4mm</td>
<td>68.2元/換算箱</td>
<td>47.5元/換算箱</td>
<td>51.4元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>無色 5mm</td>
<td>67.0元/換算箱</td>
<td>50.2元/換算箱</td>
<td>51.0元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>無色 6mm</td>
<td>69.5元/換算箱</td>
<td>52.9元/換算箱</td>
<td>52.5元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>無色 8mm</td>
<td>67.5元/換算箱</td>
<td>51.7元/換算箱</td>
<td>50.8元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>無色 10mm</td>
<td>65.6元/換算箱</td>
<td>53.7元/換算箱</td>
<td>54.0元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>無色 12mm</td>
<td>68.0元/換算箱</td>
<td>56.1元/換算箱</td>
<td>59.8元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>カラー 4mm</td>
<td>61.4元/換算箱</td>
<td>60.1元/換算箱</td>
<td>59.5元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>カラー 5mm</td>
<td>59.9元/換算箱</td>
<td>59.6元/換算箱</td>
<td>59.6元/換算箱</td>
</tr>
<tr>
<td>強化ガラス</td>
<td>70.4元/㎡</td>
<td>60.8元/㎡</td>
<td>56.4元/㎡</td>
</tr>
<tr>
<td>合わせガラス</td>
<td>232.8元/㎡</td>
<td>96.7元/㎡</td>
<td>129.7元/㎡</td>
</tr>
<tr>
<td>複層ガラス</td>
<td>145.5元/㎡</td>
<td>128.5元/㎡</td>
<td>121.4元/㎡</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会

※この出荷単価は中国建築玻璃与工業玻璃協会が一部の重点監視企業に対する集計結果である。

また、万徳社のデータ（2009年12月31日～2015年3月10日）によると、中国におけるフロートガラスの販売価格は変動しながら、低下傾向にあることが分かる。
4．中国のガラス産業にかかわる主な政策
昨年からガラス産業に関する主な政策としては、次のものが挙げられる。

・「部分産能過剰過剰産業産能置換実施弁法」

| 公布日 | 2014 年 7 月 10 日 |
| 公布者 | 工業情報化部 |
| 摘 要 | 一部の生産能力過剰産業の生産能力置換実施弁法 |
| | <目的> 生産能力が深刻に過剰する産業の盲目な拡張を抑止し、新たな生産能力の増加を厳禁し、産業過剰矛盾を解決し、産業構造の調整及びグレードアップを推進すること |
| | <ガラス関連> |
| | ガラスプロジェクトを新規建設(改良・拡張プロジェクトを含む)する場合、すでに生産能力との同等または減量で置き換える必要がある。 |
| | 時代に遅れたガラス生産能力の淘汰、ガラス生産能力過剰という矛盾の解決、ガラス産業グレードアップ及び構造最適化の促進、環境品質の改善が期待されている。 |
| | （その他） |
| | この実施細則は国務院「生産能力過剰過剰産業の解決に関する指導意見」（国発[2013]41 号）、国務院「大気汚染防止行動計画に関する通知」（国発[2013]37 号）に基づき制定したものである。
| | この実施細則の適用対象産業は鉄鋼、電解アルミニウム、セメント(クリンカ)、板ガラス産業。
| | 実施期間は2014年7月10日から2017年12月31日とされている。 |

出所：各種開資料により矢野経済研究所が作成

・「関鍵材料昇級換代工政策施方針」

| 公布日 | 2014年10月23日 |
| 公布者 | 発展改革委員会、財政部、工業信息化部 |
| 摘 要 | 重要な素材のグレードアップ・世代交代プロジェクト実施方案 |
| | <目的> 新素材産業の発展を加速すること |
| | <ガラス関連> |
| | 2016年までに高性能 LOW-E ガラスなど約 20 種類の新素材の安定したロット生産及び規模化応用を実現することが目標として挙げられている。
| | 新型 TFT 液晶用超薄ガラス基板の産業化を支援する
| | ガラス厚さ 0.4mm 未満、製造ライン 1 本あたりの生産量が 80 万枚/年以上、ハイエンドなタブレット・スマートフォンなど分野での大規模な応用とされる。
| | 高性能な光ファイバー母材(ブリスターフーム)の産業化を支援する
| | 光ファイバー母材の生産能力が 1,000 トン/年以上、母材長さ 1.5m 以上、直径 150mm 以上、母材 1 本あたりの糸引き長さ 300km。
| | 新型低炭素建材として、低製造コスト・高性能のオンラインコーティング Low-E ガラスの産業化を支援する
熱貫流率(U 値) 1.8W/m²・K 以下、可視透過率 50%以上、年間生産能力 500 万㎡/年以上、かつ 100 万㎡以上の大型ガラスカーテンウールでのモデル応用が実現されていること。

＜その他＞
・実施期間は 2014 年〜2016 年。
・新素材及び新製品、新工程の研究開発にかかわる費用が所得控除となる。

出所：各種開資料により矢野経済研究所が作成

・「平板ガラス業規範条件」(2014 年版)

<table>
<thead>
<tr>
<th>公布日</th>
<th>2014 年 12 月 31 日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>公布者</td>
<td>工業信息化部</td>
</tr>
<tr>
<td>摘 要</td>
<td>(日本語訳)板ガラス産業規範条件(2014 年版)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(目的)低炭素・安全性など基準確保の強化、生産能力過剰の解消及び産業構造の調整を図ること</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ガラス関連)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>建設条件・生産配置、生産工程・生産設備、クリーン生産・環境保護、省エネルギー・エネルギー</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>使用削減・総合利用、品質管理・製品品質、安全生産、衛生・社会責任、監督管理などに関する</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>内容が盛り込まれている。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(その他)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>同規範は「産業調整指導目録」(発展改革委第 21 号令)、「工業プロジェクト建設用地抑制指標」</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(国土資発〔2008〕24 号)、「板ガラス向上設計規範」(GB 50435)、「クリーン生産基準 板ガラス産</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>業」(HJ/T 361)、「板ガラス産業大気汚染物質排出標準」(GB 26453)、「板ガラス単位あたり製品</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>のエネルギー消費限度額」(GB 21340)、「ガラス工芸工業・衛生技術規定」(GB 15081)等に基づ</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>いて制定したものである。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各種開資料により矢野経済研究所が作成

・「2015 年原材料工業転型発展工作要点」

<table>
<thead>
<tr>
<th>公布日</th>
<th>2015 年 2 月 13 日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>公布者</td>
<td>工業信息化部</td>
</tr>
<tr>
<td>摘 要</td>
<td>(日本語訳)2015 年原材料工業構造転換発展業務要点に関する通知</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(背景)現在、素材産業は生産能力の増加過剰・市場需要の不足・資源環境制約の拡大・技術革新</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>の低レベルという局面にぶつかり、構造転換が非常に難しい状況にある。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(ガラス関連)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>新しいガラス生産能力の増加を厳格にコントロールする。必要のあるガラスプロジェクトの建設に</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>対しては必ず等量・減量置き換え原則を実行しなければならない。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ガラス産業で大企業・強い企業による集約合併を奨励する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>市場シェア及び競争力の高いガラス企業グループの形成を支援する。</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ガラス企業の海外市場への進出を支援する。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：各種開資料により矢野経済研究所が作成
5. 中国におけるガラス産業の動向

中国政府は 2001 年から板ガラスの生産能力の抑制に関する措置を講じており、「板ガラス産業参入条件」、「厳格に板ガラス生産能力を抑制し、低レベルの重複建設を制限する意見」などを公募した。さらに 2011 年に「板ガラス産業大気汚染排出基準」、2013 年には「板ガラス産業クリーン生産基準」、2014 年に「生産能力過剰矛盾の解消に関する指導意見」などを公募することで、ガラス産業でみられる盲目的な投資・低水準の重複建設が大いに抑制されてきたが、生産能力過剰の矛盾は未だ完全には解消されていない。

2017 年までに実施される「一部の生産能力過剰産業の生産能力置換実施対策」や、第 13 回五ヵ年計画（2016～2020 年）における遅れた生産能力の淘汰目標設定、環境保護基準の引き上げなどにより、今後も生産能力過剰の解消及び産業構造転換が継続的に行われていくとみられる。

また、中国におけるガラスの生産量は多いが、低中レベルの製品が約 7 割、付加価値の高い加工製品は 3 割にとどまっている。特殊な・ハイエンドな製品の多くがまだ輸入に頼っている。

2014年における中国の建材産業（ガラス産業を含む）は深刻な生産能力過剰・市場需要の低迷期にあるものの、全体的には安定した微増を実現した。今後、中国経済全体が低成長期に入り、かつ大気汚染に対応するための生産コスト増や生産コストの削減、余熱発電の利用、燃焼率の改善、ガラス原料配合の最適化、ガラス加工製品比率の向上、新機能ガラスの研究開発などの課題も残っているため、多くの企業で収益増は難しいと予想されている。

こうした背景から、中国におけるガラス産業の動向を次のように分析する。

①遅れた板ガラス生産能力の淘汰

ここ数年、遅れたガラス生産能力の淘汰が急速に進められている。2012 年は 4,700 万換算箱、2013 年は 2,800 万換算箱、2014 年は 3,760 万換算箱で、2011 年から 2014 年まで計 15,000 万換算箱の板ガラス生産能力が淘汰された。

ガラス生産能力が最も大きい河北省では、2011 年から 2014 年 4 月までに計 4,206 万換算箱の板ガラス生産能力が淘汰され、計画より 2 年間早く目標を達成している。また、2014 年から 2017 年の淘汰目標値は 3,000 万換算箱と設定されているが、2014 年の淘汰実績が 2,533 万換算箱であるため、前倒しで目標達成になると見込まれている。

②ガラス企業の海外進出の活発

政府はガラス企業の海外進出を融資などの面で支援している。海外市場への進出に伴い、中国側の遅れたガラス生産能力の淘汰、既存板ガラスの生産能力過剰解消が出来る一方で、中国側地元のガラス関連設備産業の発展にもつながると考えている。

〈河北省のガラス企業の海外進出状況〉

河北省では 2017 年までに 300 万換算箱、2023 年まで 1,000 万換算箱の板ガラス生産能力
を海外に移転するとの目標を掲げている。移転先はアジアの発展途上国・中東欧・アフリカを主としている。

同省は耀華玻璃集団及び沙河玻璃集団を主とし、河北省のガラス企業を海外で投資させ、インド・東南アジア・中東欧・アフリカを重点地として、現地及び周辺地域の投資環境・市場の考察を加速し、グリーンフィールド投資及び企業買収でガラス加工プロジェクトを企画させるように進めている。

・事例１ 河北壮大玻璃有限公司
同社はタンザニアドドマ市で年間60万換算箱のガラス製造ラインを建設し、2015年末に稼動するように目指している。

・事例２ 耀華玻璃機械製造公司
カザフスタン共和国のIFK社と合弁でガラス会社を設立する意向。同プロジェクトは2014年末現在商談中。2015年に提携契約の締結、2016年には着工を目指している。
建設内容としてはフロートガラスの製造（年間生産能力が350万換算箱）、及びガラス加工ライン（年間生産能力80万平方メートル）がある。

③産業規格や製品認証制度の整備
市場の需要などに応じて、ガラス産業規格の制定や製品認証制度の整備が進められている。

・事例１「被動式低能耗建築透明部分用ガラス」（HB002–2014）
当該「パッシブ低炭素建築物透明部分用ガラス」という産業規格が2014年9月に通過された。規格で定められた透明部分用ガラスには複層ガラス、真空複合複層ガラス、3重ガラス（ガラス3枚と空気層2からなる複層ガラス）がある。
当該規格の製品認証は、国家ガラス品質監督検査センター（秦皇島）が行う。
また、当該規格の編成者の1人は「北京新立基真空ガラス技術有限公司」である。

・事例２ 「超薄鋼化ガラス」
当該「超薄強化ガラス」という産業規格については、2015年1月に専門家による検討会が開かれた。当該規格の編成者の1人は「東莞市銀通ガラス有限公司」である。

④今後のガラス製品の発展方向
・伝統的なガラス製品のグレードアップ
現在、板ガラス製品はソーダ石灰ガラスを主としている。今後、新しい成分のガラス製品への研究開発が必要だとみられる。例えば超硬度のアルミノケイ酸塩ガラス、防火のホウケイ酸ガラス、リんケイ酸ガラス、超薄ガラス、超白ガラス、超厚ガラスなどが挙げられる。
・一般的なガラス加工製品の精度の向上
新機能ガラスの開発に取り組み、ハイエンド分野に応用させ、ガラス製品構造のローエンド化を解消する目的である。
今後、強化超薄ガラス、コーティングガラスの強化などの問題点を解決し、新しい合わせガラス中間膜の研究開発、真空ガラス・複層ガラス・シルクスクリーン加工ガラス・エンボス加工ガラス・サリガラスなどの新製品の開発を強化していくとみられる。

・建築物向けにグレードアップされたガラス及び省エネルギー・生態環境・交通・医療などの分野に向けた新機能ガラスの需要が大きいとみられる。
将来の建築物は低炭素建築物を主とするため、銀の膜を3層に重ねたLow-EガラスやセルフクリーニングLow-Eガラス、太陽光制御ガラス、真空ガラス、セルフクリーニングガラスなどが挙げられる。

また、再生エネルギー分野向けの新機能ガラスとしては、太陽光の低熱利用、太陽光の中熱利用、太陽光を中熱に使われる新機能ガラス。例えば反射防止膜処理ガラス（ARガラス）、汚れ防止ガラス（AFガラス）、ITO・FTO・AZO・ATOなど導電性ガラス

・電子通信・電子顕示分野向けのガラス製品。AG・AR・AS（反射防止・低反射・汚れ防止）の3Aタッチパネル用ガラス、X線CT用ガラスなどが挙げられる。
総じて、今後のガラス製品はナノ化・複合化・集成化・スマート化の方向に発展していくと予想されている。

⑤一部ガラス企業の動向

・福躍玻璃工業集団股分有限公司（Fuyao Group Glass Industries Co., Ltd.）
2014年初、米国のオハイオ州で独資企業を設立。主に自動車用安全ガラスを生産。2015年度稼動する予定。
2014年8月、米国PPGインタースリーズのイリノイ州にあるMt.Zion工場（フロートガラス製造）を買収した。
2015年3月、香港証券取引所にも株式市場の申請を提出した。ちなみに、同社はすでに上海証券取引所（銘柄コード600660）に上場している。

・金晶（集団）有限公司（Jinjing Group）
2014年にシリコーンスポンジFA防火複層ガラス製造ラインを稼動し、オンラインコーティングLOW-Eガラス製造ラインを設置した。FA防火複層ガラスのユーザーにはエレベーターメーカーなどがある。また、LOW-Eガラスは韓国を主として輸出している。
2014年5月、子会社の金科博山分公司（山東省）におけるLOW-E複層ガラス製造ライン（年間生産能力100万㎡）が稼動開始。
2014年9月、米国自動車用ガラス大手のピッツバーグ・ガラス・ワークス（PWG）と共同出資で設立の自動車用ガラス生産基地（山東省淄博市）を着工、2015年下半期に稼動する予定。全部の工事が完成後に、100万台分の自動車用ガラス提供能力を有する。
同社は製品ラインナップの充実、製品機能の増加に注力したほかに、付加価値の高いガラス製品の加工業務にも重点を置いています。この付加価値の高いガラス製品にはカラーガラス、着色反射ガラス、LOW-Eガラス、自動車用ガラスなどが挙げられる。
洛陽玻璃股分有限公司（Luoyang Glass Co., Ltd.）
2015年3月、生産コスト削減の一環として子会社の燃焼系統の入れ替えを決めた。同社は海及び香港で株式上場している。燃焼系統の入れ替えが決められた子会社は「洛玻集団竜昊玻璃有限公司」である。建設内容としてはフロートガラス製造ライン（年間生産能力650トン）の天然ガスとコークスガスとの燃焼系統を石油コークスの燃焼系統に改良する予定。投資額は682万元。このほか、2,400万元を投資して当該社の脱硫装置、余熱発電ボイラ系統の改造を行う予定である。
### 参考資料

1. 地域別フロートラインの設置状況（2013年末現在）

<table>
<thead>
<tr>
<th>省、市、特別区</th>
<th>No.</th>
<th>企業名称</th>
<th>生産ライン数</th>
<th>スラブ出荷量</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>河南省</td>
<td>1</td>
<td>中国洛陽浮法玻璃集団有限責任公司</td>
<td>7本</td>
<td>5,650トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2</td>
<td>河南省中躍玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3</td>
<td>河南省月浮法玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4</td>
<td>河南省京福科技投資有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>5</td>
<td>江蘇華徳雛集団有限公司</td>
<td>9本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6</td>
<td>江蘇蘇華新材料有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>7</td>
<td>天長集団天長玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>8</td>
<td>天長集団東海玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>9</td>
<td>南京聖鵬玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>10</td>
<td>江蘇永輝玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>11</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>12</td>
<td>長江京華玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>13</td>
<td>江蘇子特種玻璃(蘇州)有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>14</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>5本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>15</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>16</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>17</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>18</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>19</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>20</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>21</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>22</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>23</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>24</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>25</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>26</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>27</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>28</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>29</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>30</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>31</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>32</td>
<td>河北省京華玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>33</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>34</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>35</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>36</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>37</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>38</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>39</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>40</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>41</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>42</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>43</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>44</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>45</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>9本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>46</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>47</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>48</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>49</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>50</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>51</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>52</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>10本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>53</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>54</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>55</td>
<td>江蘇省江蘇玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国建築玻璃与工業玻璃協会
<table>
<thead>
<tr>
<th>省、市自治区</th>
<th>No.</th>
<th>企業名稱</th>
<th>生産ライン数</th>
<th>省、市総規模</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>内モンゴル自治区</td>
<td>56</td>
<td>福耀集團通遼有限公司</td>
<td>3本</td>
<td>7本</td>
</tr>
<tr>
<td>広東省</td>
<td>57</td>
<td>捷德盛寧玻璃有限公司</td>
<td>3本</td>
<td>3,200トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>58</td>
<td>包頭晶牛浮法玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>59</td>
<td>庄極瑞茂浮法玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>60</td>
<td>福耀集團南寧浮法玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>61</td>
<td>广州南玻玻璃有限公司(移転)</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>62</td>
<td>余姚集團東南玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>63</td>
<td>杭州閔行玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>64</td>
<td>杭州蕭山玻璃有限公司</td>
<td>3本</td>
<td>17,400トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>65</td>
<td>杭州中山環球玻璃集団有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>66</td>
<td>広東遠明玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>67</td>
<td>邯郸市臨城玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>68</td>
<td>優輝環保特種玻璃(江門)有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>69</td>
<td>德八連玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>70</td>
<td>河源環保玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>71</td>
<td>濱州環保玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>72</td>
<td>朝陽玻璃(成都)有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>73</td>
<td>信義環保玻璃股份有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>5,770トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>74</td>
<td>成都西部玻璃有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>75</td>
<td>蕭遼浮法玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>重慶市</td>
<td>76</td>
<td>重慶市渝城玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>4本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>77</td>
<td>福耀玻璃集団(重慶)有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>2,550トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>貴州省</td>
<td>78</td>
<td>鹽亜鐵洲玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>500トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>湖北省</td>
<td>79</td>
<td>湖北三礦新型建材股份有限公司</td>
<td>5本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>80</td>
<td>武漢義利玻璃有限公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>81</td>
<td>鄭州遠明玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>11,150トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>82</td>
<td>江門環保玻璃股份有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>83</td>
<td>沙洋県明遠玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>84</td>
<td>蕭遼南部玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>85</td>
<td>江西三礦集団有限責任公司浮法館</td>
<td>2本</td>
<td>4本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>86</td>
<td>江西安達集団</td>
<td>2本</td>
<td>2,400トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>湖南省</td>
<td>87</td>
<td>鄭州八連玻璃股份有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>4本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>88</td>
<td>梅州環保玻璃集団有限公司</td>
<td>3本</td>
<td>2,100トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>福建省</td>
<td>89</td>
<td>江門環保(廈門)有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>13本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>90</td>
<td>澎湖環保玻璃有限公司</td>
<td>7本</td>
<td>8,000トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>91</td>
<td>福耀集團福州市浮法玻璃有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>山西省</td>
<td>92</td>
<td>山西利虎玻璃(集團)有限公司</td>
<td>8本</td>
<td>4,080トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>北京市</td>
<td>93</td>
<td>北京平板玻璃工業集団有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>3本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>94</td>
<td>北京金晶智慧太陽能材料有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>1,300トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>95</td>
<td>中國玻璃北京公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>天津市</td>
<td>96</td>
<td>天津環保玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>6本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>97</td>
<td>天津環保玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>98</td>
<td>天津環保玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>4,200トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>99</td>
<td>福耀環保玻璃有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>青海省</td>
<td>100</td>
<td>哈爾濱環保玻璃股份有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>4本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>101</td>
<td>青海環保玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>1,770トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>黑龍江</td>
<td>102</td>
<td>黑龍江西星浮法玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>2本</td>
</tr>
<tr>
<td>吉林省</td>
<td>103</td>
<td>福耀集団長春有限公司及遼分社</td>
<td>2本</td>
<td>3本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>104</td>
<td>吉林玉晶玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>1,880トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>甘粛省</td>
<td>105</td>
<td>鄭州興安玻璃股份有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>2本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>106</td>
<td>安徽華東光華材料科技集団有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>900トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>安徽省</td>
<td>107</td>
<td>安徽省環保玻璃有限公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>108</td>
<td>安徽省環保玻璃有限公司</td>
<td>11本</td>
<td>6,950トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>109</td>
<td>安徽省環保玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>110</td>
<td>安徽省環保玻璃有限公司</td>
<td>3本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>111</td>
<td>安徽省環保玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>広西省</td>
<td>112</td>
<td>南寧浮法玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td>2本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>113</td>
<td>南寧浮法玻璃有限責任公司</td>
<td>2本</td>
<td>900トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>陜西省</td>
<td>114</td>
<td>陜西環保玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>8本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>115</td>
<td>陜西環保玻璃有限公司</td>
<td>2本</td>
<td>4,500トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>116</td>
<td>陜西環保玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>117</td>
<td>陜西環保特種玻璃工業有限公司</td>
<td>2本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>陜西省</td>
<td>118</td>
<td>海南中航特玻材料有限公司</td>
<td>3本</td>
<td>3本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>119</td>
<td>青海省環保玻璃股份有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>600トン/日</td>
</tr>
<tr>
<td>新疆ウイグル自治区</td>
<td>120</td>
<td>新疆晶華浮法玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td>4本</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>121</td>
<td>新疆晶華浮法玻璃有限公司</td>
<td>4本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>122</td>
<td>新疆晶華浮法玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>123</td>
<td>新疆晶華浮法玻璃有限公司</td>
<td>1本</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

広東省 26本 福耀玻璃集団福州市浮法玻璃有限公司 2本 17,400トン/日
広東省 26本 福耀玻璃集団福州市浮法玻璃有限公司 2本 17,400トン/日
広東省 26本 福耀玻璃集団福州市浮法玻璃有限公司 2本 17,400トン/日
2. 中国における名目 GDP の推移 (1980～2014年)

出所: 中国統計局のデータにより作成。

3. 中国における不動産竣工面積の推移

<table>
<thead>
<tr>
<th>年次</th>
<th>不動産竣工面積</th>
<th>対前年比</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2004年</td>
<td>207,019</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2005年</td>
<td>227,589</td>
<td>109.9</td>
</tr>
<tr>
<td>2006年</td>
<td>212,542</td>
<td>93.4</td>
</tr>
<tr>
<td>2007年</td>
<td>238,425</td>
<td>112.2</td>
</tr>
<tr>
<td>2008年</td>
<td>260,307</td>
<td>109.2</td>
</tr>
<tr>
<td>2009年</td>
<td>302,117</td>
<td>116.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年</td>
<td>278,505</td>
<td>92.2</td>
</tr>
<tr>
<td>2011年</td>
<td>329,073</td>
<td>118.1</td>
</tr>
<tr>
<td>2012年</td>
<td>335,504</td>
<td>102.0</td>
</tr>
<tr>
<td>2013年</td>
<td>349,896</td>
<td>104.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

出所：中国統計局のデータにより作成。